**東京消防庁**

**令和５年消防に関する世論調査票**

皆様のより安全で安心な暮らしのために、本世論調査の結果を今後の消防行政運営に反映させていきます。是非、あなたのご意見をお聞かせください。

【問合せ先】　東京消防庁　企画調整部　広報課　都民の声係

電話：03-3212-2111　内線：2325　FAX：03-3212-1027

**Ⅰ　地震に関すること**

大地震発生時の行動や備えについてお聞きします。

Ｑ１　あなたが家にいる時、東京都に非常に大きな地震が発生することを知らせる緊急地震速報がテレビやスマートフォンから流れました。あなたは、まず何をしますか。次の中から１つだけ選んでください。

１　テーブルの下に身を寄せるなど、身の安全を図る

２　火の元を確認する

３　戸や窓を開け避難路を確保する

４　外に出る

５　そのままの状態で様子を見る

６　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

家庭での地震に対する備えについてお尋ねします。

Ｑ２　あなたの家での、「家具類の転倒・落下・移動防止対策」の実施状況を、次の中から１つだけ選んでください。

１　すべての家具類に実施している（→Ｑ４へ）

２　一部の家具類に実施している（→Ｑ３へ）

３　倒れる可能性のある家具類がない又は家具を置いていない（→Ｑ４へ）

４　実施していない（→Ｑ３へ）

Ｑ３　Ｑ２で２又は４を選んだ方にお聞きします。家具類の転倒・落下・移動防止対策を実施していない又は一部にしか実施していない理由を、次の中からいくつでも選んでください。

　１　面倒である

　２　地震で家具が倒れるとは思わない

　３　地震で家具が倒れたとしても危険と思わない

　４　器具を売っている場所がわからない

　５　器具が高価である

　６　対策方法がわからない

　７　建物の壁に取り付けられる場所がない

　８　壁や家具にキズを付けたくない

　９　建物が免震又は制振構造である

10　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）

**　救急に関すること**

今までに、救急車を呼んだ（１１９番通報した）ことがある方にお聞きします。

救急車を呼んだことがない方は選択肢13をお選びください。

Ｑ４　あなたが救急車を呼んだ理由を、次の中からいくつでも選んでください。

１　生命の危険があると思った

２　軽症や重症の判断がつかなかった

３　自力で歩ける状態でなかった

４　救急相談先（#7119）を思い出せなかった

５　どこかに相談しようとしたが連絡先が分からなかった

６　どこの病院に行けばよいかわからなかった（夜間・休日を含む）

７　交通手段がなかった

８　病院へ連れて行ってくれる人がいなかった、または連れて行けなかった

９　救急車で病院に行った方が優先的に診てくれると思った

10　家族や知人、居合わせた人に薦められた

11　「#7119」を利用したときに救急車を呼ぶことを案内された

12　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）

13　救急車を呼んだことはない

回答番号12は、救急車を呼んだ理由が番号1～11に該当しない場合に選択してください。

「＃７１１９」について

Ｑ５　「病院へ行くか、救急車を呼ぶか」迷った時に電話やインターネットから

　相談できる「#７１１９※」を知っていますか。または、利用したことがありますか。次の中から１つだけ選んでください。

１　利用したことがある

２　利用しようとしたが、電話が繋がらなかった

３　どのような時に利用するものかは知っているが、利用したことはない

４　名称程度は知っているが、どのような時に利用するかまでは分からない

５ 知らない

※　「#７１１９」とは、電話で症状の緊急性について相談できる「東京消防庁救急相談センター」とインターネットや冊子により自身で症状の緊急性や受診科目などを確認できる「東京版救急受診ガイド」を総称したものです。

応急手当についてお聞きします。

Ｑ６　都民の方を対象に様々な応急手当を学ぶ救命講習が行われています。あなたが受けたことのある講習を次の中からいくつでも選んでください。

１　応急救護講習（心肺蘇生法、ＡＥＤ取扱い中心の短時間の講習）

２　救命入門コース（小学校中・高学年等を対象とした講習）

３　普通救命講習（心肺蘇生法、ＡＥＤ取扱い中心の３時間程度の講習）

　４　上級救命講習（３の講習内容に外傷応急手当等を加えた８時間程度の講習）

　５　応急手当普及員講習（普通救命講習等の指導要領を学ぶ講習）

　６　受けたことがない　（Ｑ７へ）

７　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

（６以外を選んだ方はＱ８へ）

Ｑ７　Ｑ６で６を選んだ方にお聞きします。救命講習を受けていない理由を次の中からいくつでも選んでください。

１　講習を受ける時間がない

２　講習に行くのが面倒

３　講習を受ける必要性がない

　４　講習を受けなくても、応急手当ができる

　５　講習をやっていることを知らなかった

　６　新型コロナウィルス感染拡大により講習が実施されなかったため

　７　新型コロナウィルス感染の恐れがあったため

　８　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ８　あなたの周りの人が急病やけがで心肺停止となり、応急手当が必要となった時、あなたは胸骨圧迫（心臓マッサージ）、人工呼吸、ＡＥＤ（自動体外式

除細動器）のいずれかができますか。次の中から１つだけ選んでください。

１　応急手当の方法を知っているから、実施できる　　（→Ｑ１０へ）

２　応急手当の方法を知っているが、実施できない　　（→Ｑ９へ）

３　応急手当の方法を知らないので、実施できない　　（→Ｑ１０へ）

Ｑ９　Ｑ８で２を選んだ方にお聞きします。あなたが、応急手当を出来ない理由

は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

１　かえって悪化させることが心配だから

２　誤った応急手当をしたら責任を問われそうだから

３　感染などが心配だから

４　怖いから

５　自信がないから

６　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**Ⅲ　防災に関すること**

防火防災訓練などについてお聞きします。

Ｑ１０　あなたが最近１年間で参加したことのある防火防災訓練や東京消防庁主催のイベントなどはありますか。次の中からいくつでも選んでください。

１　消火訓練

２　応急救護訓練（ＡＥＤの取扱い、胸骨圧迫（心臓マッサージ）など）

３　避難訓練

４　救出・救助訓練

５　水災に関する訓練

６　地震の揺れから身を守る訓練（起震車による地震体験など)

７　ＶＲ防災体験車による災害疑似体験

８　映像等による防災学習

９　防災講演会、座談会、シンポジウムなど

10　その他（具体的に 　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　　　　）

11　どれも体験・参加したことがない（→Ｑ１１へ）

（１１以外を選んだ方はＱ１２へ）

Ｑ１１　Ｑ１０で1１を選んだ方にお聞きします。参加したことがない最も大きな理由を、次の中から１つだけ選んでください。

１　過去に参加したことがある訓練と同じような内容だから

２　一緒に参加する人がいないから

３　訓練に関心がないから

４　休養したいから

５　訓練の時間帯が合わないから

６　訓練のあることを知らなかったから

７　新型コロナウィルス感染拡大により訓練が実施されなかったため

８　新型コロナウィルス感染の恐れがあったため

９　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　）

Ｑ１２　あなたが知っているものを次の中からいくつでも選んでください。

　１　消火器の使い方

２　スタンドパイプの使い方

３　１１９番通報のしかた

４　火災による煙が発生した際の避難のしかた

５　いずれも知らない

**Ⅳ　消防団に関すること**

消防団※についてお聞きします。

Ｑ１３　消防団※を知っていますか。次の中から１つだけ選んでください。

　１　知っている（→Ｑ１４へ）

　２　名前は聞いたことがある（→Ｑ１４へ）

　３　知らない（→Ｑ１８へ）

* 消防団は様々な仕事につきながら「わが街を守る」という使命感のもと、自営業や会社員、主婦や学生などで組織されている消防機関です。

消防団に入団すると、年額報酬や出場等の実績に応じて手当が支給され、被服等の給貸与、公務災害補償、退職報償金などもあります。

火災が起きた際には自宅や職場から現場に駆けつけて消火活動を行うほか、町会などで行われる初期消火訓練や避難訓練などの指導を行います。

Ｑ１４　Ｑ１３で１又は２を選んだ方にお聞きします。地域の安全・安心を守るため、あなたは消防団に入団したいと思いますか。次の中から１つだけ選んでください。

１　入団したい（→Ｑ１５へ）

２　条件が合えば入団してもよい（→Ｑ１５へ）

３　入団したいと思わない　（→Ｑ１６へ）

４　現在、消防団に入団している　（→Ｑ１８へ）

Ｑ１５　Ｑ１４で１又は２を選んだ方にお聞きします。あなたが入団を検討するとしたら、消防団について必要な情報は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。（Ｑ１５回答後はＱ１７へお進みください）

１　活動内容の詳細

２　活動の頻度

３　活動時間の長さ

４　実際に活動している人の声

５　報酬及び手当等の詳細

６　入団方法

７　受講できる講座や研修内容

８　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ１６　Ｑ１４で３を選んだ方にお聞きします。消防団に入団したいと思わない理由を次の中からいくつでも選んでください。（Ｑ１６回答後はＱ１７へお進みください）

１　活動する時間がないから

２　活動内容は知っているが、自分がやりたくないから

３　消防団についてよく知らないから

４　関心が無いから

５　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　）

Ｑ１７　次の内容は、消防団の待遇についてです。あなたが知っていることを、

　次の中からいくつでも選んでください。

　１　年額報酬が支払われる

　２　災害や警戒で出場した場合は、手当が支払われる

　３　功労に応じて表彰制度がある

　４　消防団活動でけがなどした場合は、補償制度がある

　５　消防団の活動服や制服が支給される

　６　特別職の地方公務員である

　７　全て知らない

**Ⅴ　火災予防に関すること**

消火器等についてお聞きします。

Ｑ１８　あなたのお住まいに消火器等はありますか。次の中からいくつでも選んでください。（複数回答可）

　１　消火器がある

　２　住宅用消火器がある

　３　エアゾール式簡易消火具がある

４　共同住宅※の共用部分に消火器がある

　５　消火器等はどこにもない（→Ｑ１９へ）

※　共同住宅

マンションやアパート等の廊下や階段等の共有部分がある集合住宅

消火器には使用期限があります。定期的に点検、交換を行い、いざというときに備えましょう。

Ｑ１９　Ｑ１８で５を選んだ方にお聞きします。消火器等がない理由を次の中からいくつでも選んでください。

１　消火器等の使い方がわからない

２　消火器等が販売されている場所がわからない

３　消火器等の価格が高い

４　消火器等を置くスペースがない

５　消火器等の必要性を感じない

６　自宅の近くに街頭消火器があるため必要性を感じない

７　消火器等を備えることについて考えたことがない

８　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　）

住宅用火災警報器※1についてお聞きします。

Ｑ２０　住宅用火災警報器の本体交換や定期的に作動確認※２をすることについて知っていますか。当てはまるものを１つだけ選んでください。

１　設置から１０年以上経過した場合、本体交換が推奨されていることを知っている

２　定期的な作動確認が必要なことを知っている

３　どちらも知っている

４　どちらも知らない

※1　住宅用火災警報器とは、煙や熱を感知すると警報音や音声を発して火災を知らせる機器です。火災の感知だけでなく、ガス漏れも感知する複合タイプもあります。（法令に基づきマンションなどに設置されている自動火災報知設備や単独のガス漏れ警報器とは異なります。）

※2　作動確認とは、住宅用火災警報器の本体に付いているボタンを押すことや、ひもを引くことによって住宅用火災警報器が正常に作動しているかを確認することです。

正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴り、音声等は自動で停止します。

Ｑ２１　お住まいの住宅用火災警報器の設置状況※3を、次の中から１つだけ選んでください。

１　全てに設置している

２　一部に設置している

３　自動火災報知設備又はスプリンクラー設備が設置されているため、住宅用火災警報器は設置していない（→Ｑ２５へ）

４　全く設置していない（→Ｑ２５へ）

※３　住宅用火災警報器は、全ての居室（居間、ダイニング、子供室、寝室など）、台所、階段に設置が義務付けられています。

Ｑ２２　あなたは、最近６カ月以内にお住まいの住宅用火災警報器の作動確認を実施したことがありますか。次の中から１つだけ選んでください。

１　設置から１０年以上経過している。作動確認をしたことがある。

２　設置から１０年以上経過している。作動確認をしたことがない。

３　設置から１０年は経過していない。作動確認をしたことがある。

４　設置から１０年は経過していない。作動確認をしたことがない。

５　設置した時期は分からない。作動確認をしたことがある。

６　設置した時期は分からない。作動確認をしたことがない。

Ｑ２３　住宅用火災警報器の作動確認をした結果について、次の中から１つだけ選んでください。（１個でも異常があった場合は２を選んでください）

※　Ｑ２２で作動確認をしたことが無いと回答した方も、可能であれば作動確認を行い、次の中から１つだけ選んでください。

　１　異常はなかった

　２　故障や電池切れ等の異常があった

　３　作動確認したが、異常があるかどうか分からなかった

　４　作動確認をすることができない

Ｑ２４　住宅用火災警報器の本体交換の実施状況について、次の中から１つだけ選んでください。

　１　交換している

　２　交換していない

住宅用火災警報器は、機器の劣化や電池切れ等により火災を感知しなくなるおそれがあることから、設置から１０年を目安に本体交換を推奨しています。

また、正常に作動しているか定期的(半年に１回以上)に作動確認をすることも大切です。

**　消防行政に対する要望**

Ｑ２５　東京消防庁に特に力を入れてほしいと思う取組を、下記ＡからＤの分野について、それぞれいくつでも選んでください。

Ａ　火災などの災害に関する取組

１　日常における火災、救助への対応

２　大地震などによる大規模災害時への対応

３　台風、集中豪雨などによる水害・土砂災害への対応

４　放射性物質、生物剤（炭そ菌等）、危険物及び毒劇物等の特殊な災害への対応

５　火山の噴火等による火山災害への対応

６　消防団の災害対応

７　都外及び国外への災害活動支援

８　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｂ　救急業務に関する取組

１　救急隊の現場活動

２　応急手当（ＡＥＤの使い方など）の普及活動

３　救急相談センター（♯７１１９）のサービス内容

４　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｃ　都民のみなさまの防災行動力向上に関する取組

１　地域における防火防災知識に関する普及啓発活動

２　地域における防火防災訓練指導

３　学生や児童への防火防災に関する普及啓発活動

４　高齢者や身体障害者など要配慮者への防火防災に関する普及啓発活動

５　消防博物館や防災館などの防火防災に関する施設の充実

６　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｄ　火災予防に関する取組

１　事業所（共同住宅の共用部分を含む）への防火防災指導

２　不特定多数の人が集まる施設への防火防災に関する規制

３　火災発生時の危険性が高い施設の公表

４　防火上優良であると認定された建物の表示

５　暮らしの中の火災事例に関する情報提供

６　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＜フェイスシート＞

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことについて差支えのない範囲でお答えください。

お住まいの地域（　　　　　　　　　　　　　　区・市・町・村）

性別　　１　男性　　　　２　女性　　　　３　回答しない

年齢　　１　１０代　　　２　２０代　　　３　３０代　　　４　４０代

　　５　５０代　　　６　６０代　　　７　７０代　　　８　８０代以上

ご職業　　１　自営業主　　　　　　　　　２　家族従業（家業手伝い）

３　勤め（フルタイム）　　　　４　勤め（パートタイム）

５　主婦・主夫　　　　　　　　６　学生

７　その他の無職

８　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

世帯構造　あなたの世帯について当てはまるものを教えてください。

　１　単身世帯　　　２　夫婦のみ世帯　　　３　親（養育者含む）と子のみ世帯　　４　三世代世帯　　５　その他の世帯

世帯構成　あなたご自身、もしくは同居している方の中に、次にあてはまる方が

いらっしゃれば、すべて選んでください。

１　未就学の乳幼児　　　　　　　２　小学生

３　中学生　　　　　　　　　　　４　高校生

５　大学生・専門学校生等　　　　６　６５歳以上の方

７　病気などで寝たきりの方　　　８　身体の不自由な方

　９　いずれもいない

住居形態　あなたのお住まいは、次の中のどれにあたりますか。

１　一戸建て

２　マンション・アパート（何階にお住まいですか→　　階）

３　社宅・公務員住宅・寮・寄宿舎など（何階にお住まいですか→　　階）

建物構造　あなたのお住まいの構造は、次の中のどれにあたりますか。

１　耐火造（鉄骨造、コンクリート造など）

２　耐火造以外

所有区分　あなたのお住まいの所有区分は、次の中のどれにあたりますか。

１　持家（家族所有含む）

２　賃貸

消防との関わりについて

消防と関わった経験について、次にあてはまる内容があればすべて選んでください。

１　救急車を呼ぶため１１９番通報をしたことがある

２　火災など、災害で１１９番通報をしたことがある

３　仕事で消防署に行ったことがある（届出、申請、相談など）

４　訓練や講習、イベントで消防署に行ったことがある

５　消防署に郵送やメールを活用して相談や手続きを行ったことがある

６　東京消防庁のホームページや公式アプリを活用したことがある

７　特に関わりはない

８　その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

東京消防庁に関するご意見やご提案がございましたら、ご自由にお書きください。